

昭和21年7月10日第3種郵便物認可



楠川雄太選手

楠川選手(順天堂大)が出場

田工高出身 全日本体操選手権

東京都で5日から開かれる第71回全日本体操個人総合選手権(日本体操協会など主催)に、田辺工業高校出身で順天堂大学3年の楠川雄太選手(20)が出場する。

同選手権は、世界体操競技選手権の日本代表第2次選考会などを兼ねている。男子の部には、リオ五輪代表の内村航平選手や田中佑典選手ら中学3年生以上で国内トップクラスの90人が出場する。全日本シニア選手権や全日本学生選手権で上位の選手らが選ばれた。ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目で競う。楠川選手は田辺ジュニア体操クラブ、明洋中学校体操部、

田辺工業高体操部で技術を磨いた。全国高校総体では、種目別のつり輪で2年連続3位になった。体操の強豪、順天堂大に進学し、2015年の和歌山国体では県成年男子チームの日本一に貢献した。田辺工業OBで個人総合選手権に出場するのは、14年に順天堂大の4年生だった柴田快輝さん(田辺市)以来、3年ぶり。

田辺工業高体操部の柴田達也監督(51)は「楠川選手は高校時代から世界を狙える力を持っていた。個人選手権でも実力を発揮すれば十分に上位を狙える。自分のやってきたことを信じて思い切って演技してほしい」と、教え子にエールを送っている。